

令和5年9月29日



さかもと



さわやかに かがやいて もくひょうもって ともにあゆもう

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakamoto/>

横浜市立坂本小学校 校長 荒井 正史

ある日の五年生の教室です。子どもたちがドキドキしながら英語の練習をしています。担任の先生に呼ばれた子が、学習ボランティアに来てくださっている森田ティナ先生の前に座ります。“What do you want to study?” “I want to study ○○.” “What do you want to be?” “I want to be ◎◎.” ～～子どもたちがティナ先生と「やり取り」のテストをしているところでした。

一方、図工室です。六年生が「一枚の板から」という題材で、のぎりや電動のこぎり、げんのう（金づち）などを巧みに使って、それぞれのアイデアを生かした作品を制作していました。「ふれあい教室」で講師をしていただいた地域の方々が学習ボランティアとして六年生の支援に来てくださり、子どもたちに「手はこの位置に置いて」「引くときに力を入れるよ」など、さまざまなコツを教えてくださいました。

本校では、多くの方が子どもたちの生き活きとした学習活動や成長を支えてくださっています。先日は、登校時にせせらぎを歩いていると、一年生が六月にコンサートを催してくださった久保智さんと歩いている姿を見ました。一年生がきっと久保さんに声をかけて、安全に歩くことができるように手を引いてくれていたのだと思います。久保さんにお会いした際に「子どもたちが声をかけてくれるようになって嬉しいです」と話していました。一年生のそうした姿に成長と頼もしさを感じました。

先日、一年生に半年間でがんばったこと、楽しかったことをインタビューしました。「漢字が書けるようになった」「字をきれいに書けるようになった」「引き算ができるようになって算数が好きになった」「鉄棒で前回りができるようになった」「50m走が早くなった」「プールで潜れるようになった」「泳ぐのが楽しかった」「図工でカラフル色水をしたのが楽しかった」「テストでよい点数をとれたのが嬉しかった」「生活で虫を捕ったのが楽しかった」「鍵盤ハーモニカが楽しかった」「掃除が上手にできるようになった」「給食に大好きなカレーが出て嬉しかった」「友だちと鬼ごっこをしたのが楽しかった」「友だちと宝探しをして遊んだのが楽しかった」「友だちができて学校が大好きになった」「六年生と鬼ごっこをしたのが楽しかった」「六年生が折り紙を教えてくださいました」などなどたくさんのがんばったこと、楽しかったことを教えてくださいました。

このように一年生が生き活きと学校生活に取り組むことができることは、日頃から子どもたちを支えてくださっている地域、保護者、学生、関係諸機関の皆さまに加え、上級生である二年生から六年生の方も大きいと感じています。特に、六年生が一年生とよくかかわっています。ペア学年の活動や給食時間、掃除の時間だけでなく、休み時間にも進んで一年生の教室に遊びに来てくださっている姿を毎日のように見かけます。一年生にとっては六年生と一緒に遊んでくれたり、支えてくれたりすることにとっても心強さを感じていることでしょう。10月6日（金）は前期の終業式です。前期にさまざまな場面でがんばった一年生が、そして全校の子どもたちが、後期も生き活きと活動することができることを楽しみにしています。